

入社一年を迎えて

2012年4月15日

私が日吉設計に入社して一年が経ち、学生の頃に、自分が思っていた社会人像にまだまだ自分が追いつけていない現実を痛感しています。これまで自信がなくなったことも、もう無理だと思ったことも何度もありました。ですが、仕事がわからないままているのが悔しく、早く一人でも仕事ができるようになりたいという思いをもって頑張っています。



とはいえ、今はまだ技術も知識も全く足りておらず、日吉設計の皆様にご迷惑をかけてばかりです。しかし、入社したころと比べ、間違いなく成長できたという実感もあります。

入社して半年くらいまでの間、仕事に対して、何がわからないのかもわからず、また、何が重要なのかもわからない状態だったため、寸法の入力方や寸法を入れる位置などといった小さなことにすら頭を悩ませ、混乱する日々が続きました。少し大きな部品になると途端に頭が回らなくなってしまい、手が止まってしまったり、混乱し何をしているのかわからなくなったりと、全く仕事になっていないことも少なくありませんでした。

それが今では少しずつですが、理解できるようになってきました。自分の力量がたいしたものではないと認めることで、そんな自分にでも理解ができるようにするにはどうすればよいかと考え、対応するように心がけているからです。例えば、難しい図面をみるとまだ混乱してしまいがちですが、図面に色を付けるなどして、自分の頭でしっかり理解できるように工夫をしています。そうした対策を行っていくうちに、何がわからないかを自分で見つけられるようになってきました。以前はまったく見当もつきませんでした。少し考えればわかるようになったので、混乱してしまう時間や、悩んでいる間に無駄にしてしまう時間も減ってきました。

それでも、やはりまだまだ理解できていないことのほうが圧倒的に多いです。

今はまだ先輩の力を借りなければ簡単な仕事でも、機械を作れるような図面を描くことができません。悔しいですが、今は一つ一つのことを確実にこなせるようになることが大切な時期だと思います。

日吉設計 大嶋 将史